

MOMO TIMES

木次乳業の旬の情報をお届けします。

2022年 No.1



あぐり とも ふうくろし
そとあさひ
keiko.

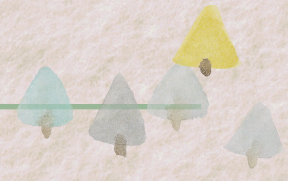
謹賀
新年
寅

旧年中は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます

コロナ禍や自然災害の影響により
暮らしを取り巻く環境が大きく変化しています
弊社は様々なことを通して
すこやかな暮らしづくりに貢献できる企業になることを
目指してまいります

2022年も変わらぬご指導を賜りますよう
よろしくお願いいたします





年頭のご挨拶

皆さま、あけましておめでとうございます。

昨年7月に代表取締役役に就任し、あっという間に半年が過ぎました。月日が経つのは本当に早いと感じています。

弊社にとって昨年は、一昨年より続くコロナ禍と、大雨や猛暑などの自然災害に悩まされた年でした。

コロナ禍においては、弊社が食品製造会社のため、コロナ感染対策に万全を期す必要があり、社内でのあらゆるコミュニケーションがとりにくくなりました。現在、社内コミュニケーションの活性化を急務と考え、スムーズに情報共有する方法を模索しているところです。

自然災害においては、弊社のある島根県雲南市で7月の大雨により河川が氾濫し(のちに局地激甚災害に指定)、道路の冠水や家屋の浸水があり、牛舎にも被害がありました。また、その後続いた猛暑の影響で、体調を崩した牛さんもいました。弊社の牛乳を搾ってくださっている牧場の方々は、これらの対応に大変苦労されました。

このように、農業は自然災害や気候変動の影響を大変受けやすく、収量や品質の維持が年々、むずかしくなっているように感じています。

地球規模の気候変動による自然災害は想定することが困難で、これまで行なってきたことの延長では通用しなくなってきており、これからはあらゆることに対応できる柔軟性を身につけていきたいと思っています。

今、SDGsに取り組む人や企業が増えてきています。弊社は、製品の容器材質を見直したりなど、早い段階から環境問題に取り組んでおり、これからも積極的に取り組んでいきたいと考えています。現在、ホエーなど、乳製品を作る過程で出る副産物はさまざまな事情から廃棄していますが、それらを廃棄ではなく再利用して製品をつくるなど、さらなる努力をしたいと思っています。

農業も食品産業も、将来を予想しにくい時代になっていますが、弊社の「すこやかな暮らしとともに」という経営理念に沿いながら、時代のうねりの中で柔軟な対応をしていきたいと思っています。

本年も皆さまのご指導をよろしくお願いいたします。

木次乳業 代表取締役 佐藤 毅史



日登牧場日記 hinobori bokujou

子牛さんの離乳



おっぱいを我慢できる子牛は鼻クリップを装着していません。

日登牧場には、ブラウンスイス種の牛さんが暮らしています。牛さんは子牛を産むことで乳を出し、その子牛が成長して日登牧場の乳牛になります。

生まれたばかりの子牛は、子牛だけが生活する小屋で過ごします。2ヵ月齢になると、親牛たちの牛舎に隣接する小部屋へ移ります。しばらくそこで過ごしながら、時々親牛たちの牛舎へ行ったりして、徐々に親牛との生活に慣れていきます。6ヵ月齢になると、親牛たちと一緒に放牧地である山へ出かけるようになり、山での暮らし方を学んでいきます。

子牛は生まれるとすぐに母牛から離し、スタッフが哺乳瓶で乳を与えて育てます。生後1ヵ月半で哺乳をやめて離乳食になります。離乳して間もない子牛の中にはまだおっぱいが恋しい子がおり、そんな子牛は親牛たちと一緒にすると親牛の乳を吸いにいってしまいます。

写真の子牛はプラスチック製の離乳用鼻クリップを装着しています。離乳用鼻クリップは外に向けてトゲが出ており、鼻クリップを装着した子牛が親牛の乳を吸いに行くと、そのトゲが乳房にあたって不快なため、親牛が子牛をポンと蹴るようになります。子牛は乳を吸いにいくと蹴られるということを感じることで乳を吸いにいなくなり、離乳できます。

離乳後の子牛は食が変わることで体調を崩しやすいため、スタッフは注意深く観察しています。

令和3年度『乳質改善共励会』で表彰された 木次牛乳生産者をご紹介します。

島根県『乳質改善共励会』では毎年、県内の酪農家を対象に乳質を審査し、成績の良い酪農家を選んで表彰しています。審査は牛乳の細菌数や体細胞数など6つの項目でおこなわれます。令和3年度の審査は、令和2年9月から令和3年8月までの期間を対象におこなわれ、木次乳業の牛乳を生産していただいている牧場からは2牧場が表彰されました。

ひとくちに“酪農”といっても、酪農家さんによって飼育方法・餌・搾乳方法などに違いがあり、それぞれが信念を持っていらっしゃいます。良質の牛乳を搾る秘訣などをお聞きしました。

表彰者

三原牧場

飯塚牧場

おめでとうございます。



常に1頭と1頭と向き合いながら、適切な対応を。

三原牧場(雲南市大東町)

飼育頭数/60頭、うち搾乳牛/40頭

表彰

治雄さん「平成3年度の夏は酷暑でしたが、9月に入ると一気に涼しくなったので、毎年秋口に悩まされている牛さんの夏バテがほとんどありませんでした。扇風機の台数を増やしたうえミストの噴霧もしているので、その効果があったようです。うちでは食品製造副産物の有効利用と牛さんの健康維持のため、牛さんにビール粕を何十年間も与えていましたが、牛さんの体調の変化など様々な事情からやめることにしました。餌を変えると腸内細菌バランスが変わるので一気にやめず徐々に減らしていったつもりでしたが、一時的に乳脂肪率が落ち心配しました。現在は元に戻り食欲も旺盛です。これからも1頭1頭と向き合いながら、その時々で適切な対応をしていきたいと思っています」

栄子さん「うちでは、この牧場で生まれたメスの子牛を育て乳牛にしていますが、2年前頃からついこの間まで、生まれて来る子牛のメスの比率が少なく、いつもなら2年間に16頭から20頭のメスが生まれるところ、どういうわけか2年間に8頭ほどしか生まれませんでした。現在、その頃に生まれたメスの子牛たちが親牛になってきており、搾乳できる頭数が足りないで、おばあちゃん牛の引退を先送りにして頑張ってもらっている状況です。子牛を他で購入することもできますが、気心の知れた牛さんの子供を育てていくのが良いので、無理をせず流れに任せていこうと思っています」



三原 治雄さん 栄子さん



大きな扇風機が13台



粗飼料の牧草(チモシー)も!!

この冬は牛乳のお鍋でぽかぽかしよう！ # 私のミルク鍋

プレゼントキャンペーン

牛乳をたっぷり使った「ミルク鍋」をつくって、写真をSNSに投稿すると、抽選ですてきなミルクグッズがもらえます。

参加方法

- Step 1 Jミルクの公式 SNSアカウントのいずれかをフォロー
- Step 2 「ミルク鍋」をつくって写真を撮影
- Step 3 ハッシュタグ「#私のミルク鍋」をつけて写真をご自身のSNSに投稿



[KINTO]
KAKOMI
IH 土鍋 (1.2L)



ミルク銅賞

[HARIO]
ミルク出しコーヒーポット
(実用容量 500mL)



ミルク賞

牛乳専用グラス、ミルク用コーヒーバッグ、
ミルク缶カップ、冷感ミルクボトル、
「ミルクのケビン」グッズのいずれか



ミルクファン賞

牛乳を使えば
どんなお鍋でもOK!

期間 2021年12月1日(水)~2022年2月28日(月)

賞品 抽選で計20名様にミルクグッズをプレゼント

お問合せ 一般社団法人Jミルク コミュニケーショングループ

📧 milkday@j-milk.jp

https://www.j-milk.jp



基本のだしにお好きな具材でオリジナル雑煮に
新年を祝う牛乳雑煮

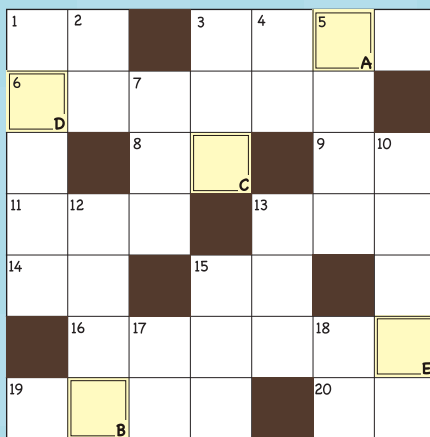


出典 **j-milk** <https://www.j-milk.jp>

材料[2人分]	
● 基本	水 120ml
	かつお節削り節 (お茶パックに入れておく) 5g
	牛乳 180ml
	西京みそ 大さじ2
●	丸餅 (ゆでておく) 4コ
●	にんじん 1/5本
●	大根 2cm
●	ほうれんそう 30g
●	ゆずの皮 適宜

- 作り方**
- ① にんじん、大根は花形に切り、だし(分量外)で下ゆでしておく。ほうれんそうはサッとゆでて5cm長さに切る。
 - ② 鍋に分量の水を沸かし、削り節を入れて濃いだしをとる。パックを取り出し、牛乳を入れて温めたら西京みそを加えて溶く。
 - ③ 椀にゆでた餅、にんじん、大根、ほうれんそうを盛る。
 - ④ ③に②を注ぎ、丸く切ったゆずの皮を添える。

『木次牛乳飲み比べセット』が当たるクロスワードパズル



タテのカギ

- ① 直立姿勢を完成した脳の大きな人類、“○○○○○ンス”。
- ② 木を蒸し焼きにして作る燃料。
- ③ 大坂○○○、渡辺○○○、松嶋○○○。共通する名前は？
- ④ 555や22など、同じ数字が並んだ状態の、“○○目”。
- ⑤ メロンパンやあんパン、シナモンロールなどをまとめてこう呼ぶ。
- ⑦ “○○○口”は、物事の始まったばかりのところ。
- ⑩ シジミに多く含まれる健康に良い成分。
- ⑫ 室町幕府は、○○○○尊氏が京都で創始した武家政権。
- ⑬ ウィリアム・シェイクスピア作の喜劇、『○○○の夜の夢』。
- ⑮ 刺身に欠かせない、ツーンとくる日本原産の香辛料。
- ⑰ 国の特別天然記念物である山猫が息息する、“○○表島”。
- ⑱ お猪口より少し大きい、“○○呑み”。

ヨコのカギ

- ① “病院”は英語で、“○○ピタル”。
- ③ 「xxと掛けて、▲▲と解く」「その心は」「◆◆◆◆」…『ねずっち』が得意な“○○○○”。
- ⑥ 大根に唐辛子を差し込み、一緒にすりおろしたもの。鍋料理と相性ピッタリ!
- ⑧ 寺子屋で教えていた初等教育は、「○○書きそろばん」。
- ⑨ ゴビ砂漠で暮らす遊牧民のテントの名前は、モンゴルでは“ゲル”、中国では？
- ⑪ 『ハラミちゃん』が弾いている楽器といえば？
- ⑫ 野球でグラブスラムといえば、“○○いホームラン”のこと。
- ⑭ “女郎花”と書いて“オミナ○○”と読む。
- ⑮ 渓流で食物連鎖のトップに君臨する魚、“イ○○”。
- ⑰ ♪○○○○○○君のごこと いつも待ったものでした～野口二郎の『私鉄沿線』
- ⑱ 夜間の警護や照明として焚く火。
- ⑳ 木次乳業が新しく初めたSNSは、“○○スタグラム”。

クイズのこたえ



マスにカタカナを入れて言葉を作ってください。

木次牛乳
飲み比べセット



正解者の中から抽選で**3名様にプレゼント!**



ハガキにクイズの答えと、お名前・ご住所・お電話番号を記入し、〒699-1323 島根県雲南市木次町東日登228-2 木次乳業 モーモータイムズ No.1係 宛に送ってください。

※応募のめ切りは2022年2月15日です。(当日消印有効)

※正解者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

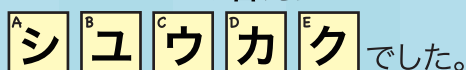
※せっかく当選されても、お電話番号の記入がないと賞品をお送りすることができません。

お電話番号のご記入をお忘れないうち、お願いいたします。

●ご応募いただいた個人情報は、厳重に管理します。

●ご応募いただいたハガキに添えてくださったお言葉、ご意見などをモーモータイムズに掲載させていただくことがあります。(掲載の可否を伺うため、弊社からご連絡させていただくことがあります。予めご了承ください)

2021-No.11の答えは



当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。
たくさんのご応募をありがとうございました。

